

第98回 | 株 主 通 信

2022年4月1日～2023年3月31日



2023年8月に開設50周年を迎える滋賀工場



代表取締役会長 **横田 隆**



代表取締役社長 **大山 啓一**

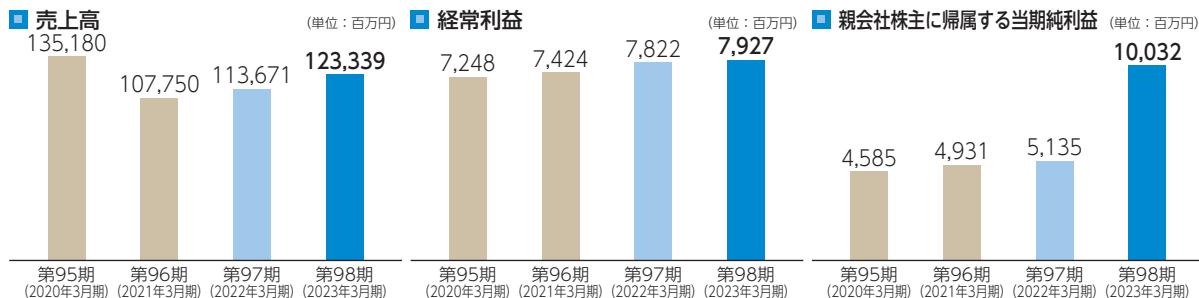
株主の皆様には、日頃よりコニシグループにご支援いただき、厚く御礼申し上げます。

コニシの歩みは、1870年創業の薬種商から始まり、その後、洋酒や工業用薬品の販売へと事業を拡大し、1952年には合成接着剤「ボンド」を開発しました。現在は、合成接着剤「ボンド」などを製造・販売するメーカーとしての「ボンド事業」、化学品を扱う専門商社としての「化成品事業」、橋梁などの社会インフラおよび建築ストック市場の維持・補修・改修を目的とした「工事業」を主力の3事業として、「つなげる」ことを理念とし、さらなる事業展開を図っております。

コニシにとって、「つなげる」は多様な意味を持ちます。

- 一つは、様々なモノをくっつけること。
- 一つは、人やモノや情報をつなげること。
- 一つは、様々なモノを次代へ、より長きにわたって継いでいくこと。
- 一つは、お客様の思いや夢を形として具体化すること。

これからも「つなげる」ことにどこよりもこだわり、これまでの事業を継続し発展させるだけでなく、事業領域の拡大を目指し、新分野・新領域の開拓にも挑戦し、さらに快適な明日の暮らしに貢献して参ります。皆様には今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第97期の期首から適用しており、第96期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

事業区別の状況

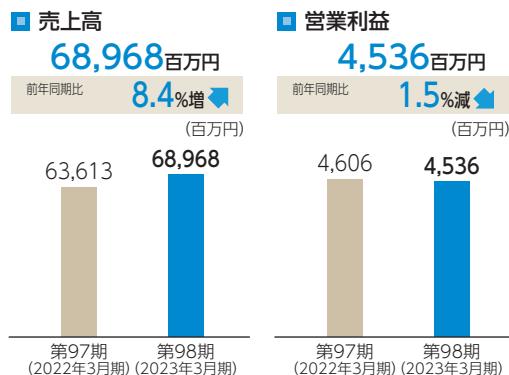
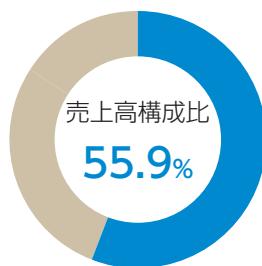
【ボンド】

一般家庭用分野においては、ホームセンター向けやコンビニエンスストア向けは堅調に推移しました。住関連分野においては、建築コストが上昇傾向となり新設住宅着工戸数の持ち直しの動きは鈍く、内装工事用の販売数量は減少しました。産業資材分野においては、自動車・電子部品等に使用される弾性接着剤の販売数量が増加しました。建築分野においては、建築補修用や建築用シーリング材の販売数量は増加し、土木分野においても、表面保護・はく落防止工法が好調に推移しました。

当連結会計年度については、接着剤やシーリング材に使用される原材料価格が過去にない水準で高騰しましたが、経費削減や原価改善の取り組み、製品販売価格への転嫁が年度後半にかけて進捗し、営業利益は前年同期並みまで回復しました。

以上の結果、売上高は689億68百万円(前年同期比8.4%増)、営業利益は45億36百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

ボンド

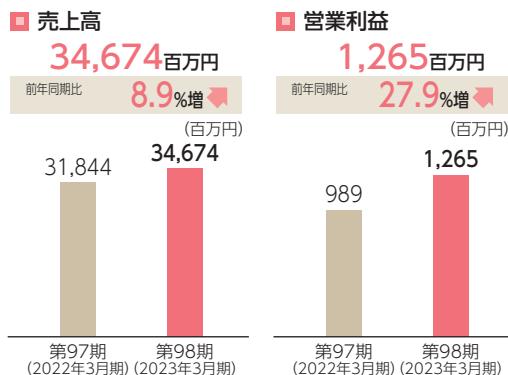
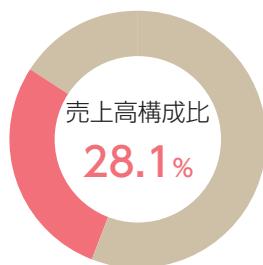


【化成品】

売上高、利益ともに、仕入商材の価格改定による影響もあり、全体的に好調に推移しました。化学工業分野においては、樹脂原料の販売が堅調に推移しました。自動車向けの商材は、半導体不足等で需要影響はあったものの、供給制約の緩和や新規採用により好調に推移しました。また、電子電機向けの商材は、供給先の生産調整もあり低調に推移しました。丸安産業(株)は、コンデンサ用商材が半導体不足の影響を受け減少しましたが、半導体製造に使用される商材は引き続き好調に推移しました。

以上の結果、売上高は346億74百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は12億65百万円(前年同期比27.9%増)となりました。

化成品

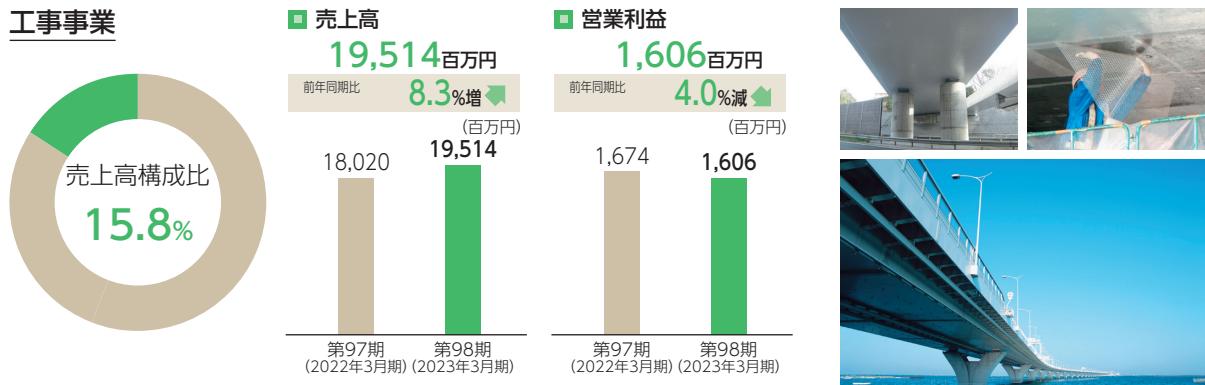


[工事業]

工事業においては、公共事業を中心とした社会インフラおよび建築ストック市場の補修・改修・補強工事が引き続き好調に推移し、ボンドエンジニアリング㈱は売上・利益ともに増加しました。また、2023年1月に子会社化した中信建設㈱も売上・利益の増加に寄与しました。その他の関係工事会社は、工事の受注状況は堅調であるものの、資材価格の高騰や大型工事案件を得られなかったこと等により低調に推移しました。

以上の結果、売上高は195億14百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は16億6百万円(前年同期比4.0%減)となりました。

工事業



[その他]

その他は不動産賃貸業等となります。売上高は1億82百万円(前年同期比5.7%減)、営業利益は2百万円(前年同期比82.5%減)となりました。

TOPICS

当社の製品は、身近なところでたくさん使われています。

このたび、さまざまな場所で活躍する「ボンド」をいくつかご紹介します。

1. 橋梁（コンクリート）



コンクリート構造の橋梁における補強や補修、はく落防止などに「ボンド」が使用されています。用途は、ひび割れ補修、塩害対策、はく落対策、耐震補強など多岐に渡ります。最近では、コンクリートはく落による第三者被害防止のため、はく落防止工法として「ボンド KEEPメンテ工法 VMシリーズ」がよく使用されます。この工法はコンクリートの表面に接着剤を塗布し、ネットを貼り付け、さらに接着剤や仕上げ材を塗布することで、はく落を防止します。接着剤の硬化皮膜は強靱で柔軟性を有しているため、ひび割れなどコンクリートの変形への追従性に優れています。また、はく落対策後の定期点検を行いやすくするための、透明な樹脂を用いたはく落対策もあります。



2. 食品用ラップフィルム

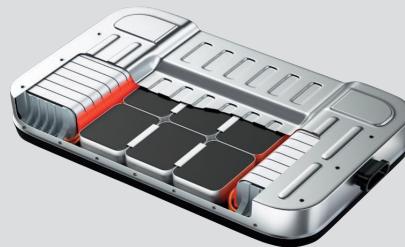


食品用ラップフィルムは、紙製の芯に巻かれています。この芯を紙管といいます。紙管を作る時にも「ボンド」が使用されています。紙管は、ロールコーターと呼ばれる機械で薄い紙に接着剤を塗布して一枚一枚重ねて接着します。これを何重にも重ねていくことで食品用ラップフィルムの芯のように固い紙管となります。他に、トイレットペーパーの芯や円筒状のお菓子の紙製容器なども紙管が使われていることがあります。

3. バッテリーケース



ノートパソコンなどの電子機器には、リチウムイオンバッテリーが多く使用されています。このバッテリーは繰り返し充電しても劣化しにくく、大容量で長時間使用できることが特徴となっています。しかしながら、異常な発熱により発火する危険性もあります。そこで、当社は難燃規格の認証を得ている「ボンド FBシリーズ」を販売しており、バッテリーケースの封止用途などで使用されています。



4. フローリング



フローリングは1枚の木の構造ではなく、フロア台板と呼ばれる基材に木目調に印刷されたシートを接着して作られるフローリングもあります。そのフロア台板を製造するためやフロア台板にシートを貼るために「ボンド」が使用されています。できあがったフローリングを貼る接着剤にも、もちろん「ボンド」が使われています。



事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<https://www.bond.co.jp/ir/koukoku/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSC®
の認証紙と水なし印刷方式を採用
しています。